■ 保健福祉学部 ディプロマ・ポリシー

DIII4			
DH1	かけがうのかい方左である「ひと	「た涇ノ珊般オスレレキに」	豊かな人間関係を築く力を修得したもの
D111	1かけかんりない1十1年とめる ・ひと	1を休く坪畔りるととひに、	、豆かな人間関係を栄く力を修得したもの。

- DH2 人々のニーズやコミュニティが抱えるさまざまな課題を広い視野で考察、分析し、市民との協働により解決する力を修得したもの
- DH3 人々にとって最適な保健・医療・福祉サービスを提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力を持ち、高い倫理観や人権意識を基盤とした実践力を修得したもの
- DH4 保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解するとともに、連携して協働できる力を修得したもの
- DH5 専門領域における基礎的知識や技術を十分理解するとともに、主体的に学問を探求し、真理を追究する姿勢を修得したもの
- DH6 国際的な視野に立ち、コミュニティを基盤として広く世界に貢献する力を修得したもの

■ リハビリテーション学科 ディプロマ・ポリシー

- DR1 | リハビリテーションの基本的な知識・技術を習得するとともに、対象者を深く理解し、最適なリハビリテーションを創造・提供できる能力を修得したもの
- DR2 在宅・地域リハビリテーションに関する知識・技術を身につけ、小児から高齢者の心身機能の維持と改善、QOLの向上、生活の自立を支援する力を修得したもの
- DR3 生涯学習を継続し自ら研究する姿勢を身につけ、将来においてリハビリテーションの分野で指導的役割をになえる基礎的能力を修得したもの
- 理学療法学専攻においては、小児から高齢者まで幅広く対象とし、疾病による障害の回復のみならず、健常者の健康維持から高齢者の介護予防まで、身体機能の維持改善に関する知識・技術を身に DR4 つけ、幅広い分野での問題を解決する能力を修得したもの
- DR5 5. 作業療法学専攻においては、健康の維持・増進を目的に作業とその作業を行う人間の関係を科学的に探求し、身体的・精神的障害の改善に必要な知識・技術と実践的な能力を修得したもの

■ 作業療法学専攻 ディプロマ・ポリシー

- DP1 DP1:作業療法の理論・技術の基礎となる「ひと」を深く理解する能力を修得したもの
- | DP2 | DP2:「ひと」を作業的存在としてとらえ、ひとりひとりに合った作業療法を実践するために必要な基本的知識と理論を学び、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- DP3:支援を必要としている人々に最適な作業療法を提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力、問題解決能力と高い倫理観や人権意識を身に着け、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- DP4:ヒューマンサービスの理念を理解し、人々の健康と安心の維持・増進のため、保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解し、関連する職種と連携・協働できる能力を修得したもの
- DP5 DP5:作業療法を学問として科学的・論理的に研究し、臨床に貢献できる能力を修得したもの
- DP6 DP6:国内外で指導的な立場に立ち、広い視野で地域社会および世界に貢献できる能力を修得したもの

	<u>x</u>	授業科目	単位	立数	開講自由		(必修(● 選	《択必	修■	選択〇		ディフ	プロマ	・ポリ	シー												
	分					₣次		F次		年次	4年2				保健福						ーション	ノ学科		•	作業療法	去学専攻	ጀ	
			必修 選	択 自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期 1		DH1	DH2	DH3	DH4	DH5	DH6	DR1	DR2	DR3	DR4	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	教科目	ヒューマンサービス論 I	1		•								0	0	0	0	0			0			0	0	0	0		
36.1	# 147 EJ	ヒューマンサービス論Ⅱ	1									•	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0		
		倫理と人間	2	2	0								0	0	0	0		0	0	0			0	0	0			
		宗教と人間	2	2		0							0		0	0		0	0	0			0	0	0			
		哲学	1	2		0							0	0		0			0	0			0	0	0			
	自己	教育原論	2	2	0								0	0		0			0	0			0	0	0			
	形 成	心理学	2	2	0								0	0		0			0	0			0	0	0			
٨	Ţ	発達心理学				0							0	0		0			0	0			0	0	0			
	間	人間関係とコミュニケーション I	1		•								0			0						0	0	0	0	0		
	解	人間関係とコミュニケーションⅡ				0							0			0						0	0	0	0	0		
	PT	健康スポーツ		ı	0								0			0							0	0	0			
		バリアフリースポーツ		1		0							0			0					0	0	0	0	0			
[10]		創作・造形活動		ı	0								0			0					0		0	0	0			
"		日本国憲法	2	2	0									0	0								0	0	0			
		 社会学	2	2		0								0	0			0		0			0	0	0			
				ı		0								0	0			0			0	0	0	0	0			
		ボランティア・市民活動論		1	0									0	0				0	0			0	0	0			
	社 会	 人権・ジェンダー	2		•								0	0	0				0	0			0	0	0			
総	理解	歴史と人間		2	0								0	0				0	0	0			0	0	0			
	群	生活と経済		2	0								0	0		0			0	0			0	0	0			
		神奈川の生活と文化	2	2		0							0	0	0								0	0	0			
		文化人類学	2			0							0	0				0					0	0	0			
		法と人間	2	2		0								0	0				0	0			0	0	0			
合		科学と人間	2		0								0	0	0								0	0				
			1	2		0							0	0				0					0	0				
		物理学		_		0								0	0								0	0				
	自	化学概論		2	0									0	0								0	0				
	然理	基礎有機化学		2	0									0	0								0	0				
	解群	基礎有機化学実験		_	0									0	0								0	0				
教		生物学概論	2		0									0	0								0	0				
		細胞生物学	1	_	0									0	0								0	0				
		生物学基礎実験		_	0									0	0								0	0				
		多文化理解		2	0							1	0	0				0				0						0
		国際社会と日本		2	0								0	0				0				0						0
*		英語(英会話 I)	.										0					0				0						0
"	==	英語(講読)	<u> </u>										0					0				0						0
	際理	英語(保健医療福祉のための英語 I)											0					0				0						©
	解群	英語 (保健医療福祉のための英語 II)	.	_								1	0					0				0						©
		英語(総合英語)	<u> </u>									-	0					0				0			1			©
		英語(英会話Ⅱ)	.									1	0					0				0						©
科		コリア語(基礎)			0	† <u> </u>				1		1	0					0				0						©
• '			<u> </u>	_		I	<u> </u>		1	1														<u> </u>	I	<u> </u>	L	

■ 保健福祉学部 ディプロマ・ポリシー

DIII					
DH1	かけがえのない存在である	「ひと」を深く理解すん	るとともに、豊	豊かな人間関係を築く	カを修得したもの

- DH2 人々のニーズやコミュニティが抱えるさまざまな課題を広い視野で考察、分析し、市民との協働により解決する力を修得したもの
- DH3 人々にとって最適な保健・医療・福祉サービスを提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力を持ち、高い倫理観や人権意識を基盤とした実践力を修得したもの
- DH4 保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解するとともに、連携して協働できる力を修得したもの
- DH5 専門領域における基礎的知識や技術を十分理解するとともに、主体的に学問を探求し、真理を追究する姿勢を修得したもの
- DH6 国際的な視野に立ち、コミュニティを基盤として広く世界に貢献する力を修得したもの

■ リハビリテーション学科 ディプロマ・ポリシー

- DR1 | リハビリテーションの基本的な知識・技術を習得するとともに、対象者を深く理解し、最適なリハビリテーションを創造・提供できる能力を修得したもの
- DR2 在宅・地域リハビリテーションに関する知識・技術を身につけ、小児から高齢者の心身機能の維持と改善、QOLの向上、生活の自立を支援する力を修得したもの
- DR3 生涯学習を継続し自ら研究する姿勢を身につけ、将来においてリハビリテーションの分野で指導的役割をになえる基礎的能力を修得したもの
- 理学療法学専攻においては、小児から高齢者まで幅広く対象とし、疾病による障害の回復のみならず、健常者の健康維持から高齢者の介護予防まで、身体機能の維持改善に関する知識・技術を身に DR4 つけ、幅広い分野での問題を解決する能力を修得したもの
- DR5 5. 作業療法学専攻においては、健康の維持・増進を目的に作業とその作業を行う人間の関係を科学的に探求し、身体的・精神的障害の改善に必要な知識・技術と実践的な能力を修得したもの

■ 作業療法学専攻 ディプロマ・ポリシー

- DP1 DP1:作業療法の理論・技術の基礎となる「ひと」を深く理解する能力を修得したもの
- DP2 DP2:「ひと」を作業的存在としてとらえ、ひとりひとりに合った作業療法を実践するために必要な基本的知識と理論を学び、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- DP3:支援を必要としている人々に最適な作業療法を提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力、問題解決能力と高い倫理観や人権意識を身に着け、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- DP4:ヒューマンサービスの理念を理解し、人々の健康と安心の維持・増進のため、保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解し、関連する職種と連携・協働できる能力を修得したもの
- DP5:作業療法を学問として科学的・論理的に研究し、臨床に貢献できる能力を修得したもの
- DP6 DP6:国内外で指導的な立場に立ち、広い視野で地域社会および世界に貢献できる能力を修得したもの

ı	区	授業科目	Ě	单位		開講明 自由〈		(必修(● 選	₹択必	修■	選択()	ディコ	プロマ	・ポリ	シー												
:	分						次		F次		∓次		F次				祉学部			リハ	ごリテ-	ーション	ン学科		•	作業療法	去学専攻	Σ	
L			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DH1	DH2	DH3	DH4	DH5	DH6	DR1	DR2	DR3	DR4	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
		コリア語(応用)		1			0							0					0				0						0
	国際	スペイン語(基礎)		1		0								0					0				0						0
	理解	スペイン語(応用)		1			0							0					0				0						0
	群	中国語(基礎)		1		0								0					0				0						0
目		中国語(応用)		1			0							0					0				0						0
		統計学	2			•									0	0		0				0	0			0		0	
	情報	情報の活用と倫理		1		0									0	0		0				0	0			0		0	
	理	情報処理学 I		1		0									0	0		0				0	0			0		0	
	群	情報処理学Ⅱ	1				0								0	0		0				0	0			0		0	
		文献検索とクリティーク	1				•								0	0		0				0	0			0		0	
		健康論	2			•								0	0	0	0								0	0	0		0
連	基础	保健医療福祉論 I	2			•								0	0	0	0								0	0	0		0
	· ·	公衆衛生学	2				•							0	0		0		0						0	0	0		0
携	開	保健医療福祉論Ⅱ	2					•						0	0		0								0	0	0		0
実	科目	地域保健医療福祉連携論	1							•				0	0	0	0								0	0	0		0
~		ヒューマンサービス総合演習	1										•	0	0	0	0			0	0	0	0		0	0	0		0
践		疫学・社会調査		2				0							0	0									0	0	0		
		カウンセリング論		1					0					0		0									0	0	0		
教		薬の基礎科学	1				•									0	0								0	0	0		
	翼	感染の予防と管理		1			0									0	0								0	0	0		
育	連和	救命・救急学概論	1						•							0	0								0	0	0		
科	B	口腔健康論		1			0									0	0								0	0	0		
17		医用機器概論		1					0							0	0								0	0	0		
目		家族社会学		2					0					0	0	0	0								0	0	0		
				1									•			0	0								0	0	0		
		解剖学 I	1			•								0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
			1				•							0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
		 解剖学実習 I	1		1 1			•						0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
	Ţ		1											0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
	体の	生理学 I	1			•								0	0					0		0	0	0	©	0	0	0	
	構造	生理学Ⅱ	1				•							0	0					0		0	0	0	©	0	0	0	
	۲	生理学実習	+ ;					•						0	0					0		0	0	0	©	0	0	0	
	機能	運動学Ⅰ	1				•	<u> </u>						0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
專		作業運動学	+-		+		<u> </u>		•					0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
		運動学演習	2					•						0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
		人間発達学	1		+		•	Ť						0	0					0		0	0	0	0	0	0	0	
		臨床心理学	1				<u> </u>	•						0	0	0				0		0	0	0	0	0	0	0	\vdash
		病理学概論	+ -				•											0		0	0		<u> </u>	0	0	0	0	0	
		一般臨床医学	1		\vdash	•												0		0	0			0	0	0	0	0	
		精神医学 I	1		1			•		-	-							0		0	0			0	0	0	0	0	
	疾 及病・	精神医学Ⅱ 精神医学Ⅱ	1						•									0		0	0			0	0	0	0	0	
I I	び押	т Т ФТ П		<u> </u>				<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>							J	J				<u> </u>				<u> </u>

■ 保健福祉学部 ディプロマ・ポリシー

DIII4			
DH1	かけがうのかい方左である「ひと	「た涇ノ珊般オスレレキに」	豊かな人間関係を築く力を修得したもの
D111	1かけかんりない1十1年とめる ・ひと	1を休く坪畔りるととひに、	、豆かな人間関係を栄く力を修得したもの。

- DH2 人々のニーズやコミュニティが抱えるさまざまな課題を広い視野で考察、分析し、市民との協働により解決する力を修得したもの
- DH3 人々にとって最適な保健・医療・福祉サービスを提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力を持ち、高い倫理観や人権意識を基盤とした実践力を修得したもの
- DH4 保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解するとともに、連携して協働できる力を修得したもの
- DH5 専門領域における基礎的知識や技術を十分理解するとともに、主体的に学問を探求し、真理を追究する姿勢を修得したもの
- DH6 国際的な視野に立ち、コミュニティを基盤として広く世界に貢献する力を修得したもの

■ リハビリテーション学科 ディプロマ・ポリシー

- DR1 | リハビリテーションの基本的な知識・技術を習得するとともに、対象者を深く理解し、最適なリハビリテーションを創造・提供できる能力を修得したもの
- DR2 在宅・地域リハビリテーションに関する知識・技術を身につけ、小児から高齢者の心身機能の維持と改善、QOLの向上、生活の自立を支援する力を修得したもの
- DR3 生涯学習を継続し自ら研究する姿勢を身につけ、将来においてリハビリテーションの分野で指導的役割をになえる基礎的能力を修得したもの
- 理学療法学専攻においては、小児から高齢者まで幅広く対象とし、疾病による障害の回復のみならず、健常者の健康維持から高齢者の介護予防まで、身体機能の維持改善に関する知識・技術を身に DR4 つけ、幅広い分野での問題を解決する能力を修得したもの
- DR5 5. 作業療法学専攻においては、健康の維持・増進を目的に作業とその作業を行う人間の関係を科学的に探求し、身体的・精神的障害の改善に必要な知識・技術と実践的な能力を修得したもの

■ 作業療法学専攻 ディプロマ・ポリシー

- DP1 DP1:作業療法の理論・技術の基礎となる「ひと」を深く理解する能力を修得したもの
- DP2 DP2:「ひと」を作業的存在としてとらえ、ひとりひとりに合った作業療法を実践するために必要な基本的知識と理論を学び、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- DP3 DP3:支援を必要としている人々に最適な作業療法を提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力、問題解決能力と高い倫理観や人権意識を身に着け、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- DP4:ヒューマンサービスの理念を理解し、人々の健康と安心の維持・増進のため、保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解し、関連する職種と連携・協働できる能力を修得したもの
- DP5 DP5:作業療法を学問として科学的・論理的に研究し、臨床に貢献できる能力を修得したもの
- DP6:国内外で指導的な立場に立ち、広い視野で地域社会および世界に貢献できる能力を修得したもの

	区	授業科目	単	单位数		開講的自由		必修	● 選	択必何	俢■	選択(O	ディフ	プロマ	・ポリ	シー												
1	分						次		次		F次		F次			保健福	祉学音	ß		リハヒ	ヹリテー	ーション	ン学科		•	作業療法	去学専习	ζ	
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	DH1	DH2	DH3	DH4	DH5	DH6	DR1	DR2	DR3	DR4	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
177	幹回 ·賽 ∩	内科学 I	1					•										0		0	0			0	0	0	0	0	
	過の	内科学Ⅱ	1						•									0		0	0			0	0	0	0	0	
	低成り	整形外科学 I	1					•										0		0	0			0	0	0	0	0	
	回復過程の促進と障害の成り立ち	整形外科学Ⅱ	1							•								0		0	0			0	0	0	0	0	
	_	神経内科学	1						•									0		0	0			0	0	0	0	0	
		小児科学	1					•										0		0	0			0	0	0	0	0	
		脳神経外科学	1						•									0		0	0			0	0	0	0	0	
		リハビリテーション医学	1					•										0		0	0			0	0	0	0	0	
創	の理念ハピリテーション保健医療福祉とリ	リハビリテーション概論	1				•							0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	
		作業療法概論	1			•											0	0		0	0	0			0		0		
	学作	作業療法理論		1								0						0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
	の業基療	基礎作業学実習	1				•											0		0	0	0		0	0	0	0	0	
	T88 2-6-	臨床作業療法学実習	2							•							0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		作業療法研究法	1								•				0	0	0	0		0		0				0		0	0
造		作業療法管理学 I	1									(•											0	0	0	0	0	
	学管業 理療	作業療法管理学Ⅱ	1									(•											0	0	0	0	0	
		評価学概論	1				•								0	0	0	0		0		0		0	0	0	0	0	
		評価学演習		1					0							0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
	評集	精神機能評価学	1					•								0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
	評価学作業療法	身体機能評価学 I	1					•								0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		身体機能評価学Ⅱ	1						•							0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		発達系評価学	1					•								0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
教		精神障害作業療法学	1						•							0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		精神障害作業療法学演習	1							•						0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		身体障害作業療法学 I	1						•							0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		身体障害作業療法学Ⅱ	1							•						0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		身体作業療法学演習	1							•						0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		高次脳障害論	1							•						0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		発達障害作業療法学	1						•							0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		発達障害作業療法学演習	1							•						0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
育		老年期作業療法学	1						•							0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		老年期作業療法学演習	1							•						0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
	作業	日常生活援助論	1					•								0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
	治療	日常生活援助論演習	1						•							0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
	学	義肢装具学	1								•					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		作業適用学	1			•										0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		遊び・余暇活動治療学	1								•					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		徒手療法特論		1						0						0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	

■ 保健福祉学部 ディプロマ・ポリシー

DIII4			
DH1	かけがうのかい方左である「ひと	「た涇ノ珊般オスレレキに」	豊かな人間関係を築く力を修得したもの
D111	1かけかんりない1十1年とめる ・ひと	1を休く坪畔りるととひに、	、豆かな人間関係を栄く力を修得したもの。

- DH2 人々のニーズやコミュニティが抱えるさまざまな課題を広い視野で考察、分析し、市民との協働により解決する力を修得したもの
- DH3 人々にとって最適な保健・医療・福祉サービスを提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力を持ち、高い倫理観や人権意識を基盤とした実践力を修得したもの
- DH4 保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解するとともに、連携して協働できる力を修得したもの
- DH5 専門領域における基礎的知識や技術を十分理解するとともに、主体的に学問を探求し、真理を追究する姿勢を修得したもの
- DH6 国際的な視野に立ち、コミュニティを基盤として広く世界に貢献する力を修得したもの

■ リハビリテーション学科 ディプロマ・ポリシー

- DR1 | リハビリテーションの基本的な知識・技術を習得するとともに、対象者を深く理解し、最適なリハビリテーションを創造・提供できる能力を修得したもの
- DR2 在宅・地域リハビリテーションに関する知識・技術を身につけ、小児から高齢者の心身機能の維持と改善、QOLの向上、生活の自立を支援する力を修得したもの
- DR3 生涯学習を継続し自ら研究する姿勢を身につけ、将来においてリハビリテーションの分野で指導的役割をになえる基礎的能力を修得したもの
- 理学療法学専攻においては、小児から高齢者まで幅広く対象とし、疾病による障害の回復のみならず、健常者の健康維持から高齢者の介護予防まで、身体機能の維持改善に関する知識・技術を身に DR4 つけ、幅広い分野での問題を解決する能力を修得したもの
- DR5 ┃5. 作業療法学専攻においては、健康の維持・増進を目的に作業とその作業を行う人間の関係を科学的に探求し、身体的・精神的障害の改善に必要な知識・技術と実践的な能力を修得したもの

■ 作業療法学専攻 ディプロマ・ポリシー

- DP1:作業療法の理論・技術の基礎となる「ひと」を深く理解する能力を修得したもの
- DP2 DP2:「ひと」を作業的存在としてとらえ、ひとりひとりに合った作業療法を実践するために必要な基本的知識と理論を学び、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- DP3:支援を必要としている人々に最適な作業療法を提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力、問題解決能力と高い倫理観や人権意識を身に着け、作業療法実践に臨む能力を修得したもの
- |DP4 ||DP4:ヒューマンサービスの理念を理解し、人々の健康と安心の維持・増進のため、保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解し、関連する職種と連携・協働できる能力を修得したもの
- DP5 DP5:作業療法を学問として科学的・論理的に研究し、臨床に貢献できる能力を修得したもの
- DP6:国内外で指導的な立場に立ち、広い視野で地域社会および世界に貢献できる能力を修得したもの

	<u>x</u>	授業科目	単	位数		開講時期 自由◇)		>修●	選択	必修■	選択	80	ディフ	プロマ	・ポリ	シー			_									
	分					1年次	:	2年次		3年次	4	年次		1	保健福	祉学部	ß		リハロ	ごリテ-	ーション	ン学科		•	作業療法	去学専习	ζ	
			必修:	選択	自由	前期 後	期前	前期 後	期前	前期 後期	月 前其	胡 後期	DH1	DH2	DH3	DH4	DH5	DH6	DR1	DR2	DR3	DR4	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
科		中枢神経系疾患アプローチ特論		1						0					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		終末医療特論		1						0					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		産業リハビリテーション特論		1						0					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		音楽療法		1						0					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		園芸療法		1					(0					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		ハンドセラピー		1					(0					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		感覚運動アプローチ論		1					(0					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
		リハビリテーション工学(福祉機器を含む)	1							•					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
	治域	就業援助論	1							•					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
	/ 療学域作業	介護技術方法論		1		(Э								0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	
	*	地域作業療法学	1						•	•					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		地域作業療法学演習	1						•	•					0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		見学評価学実習	2					•	•				0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		評価学実習	3						(•			0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
	床実	総合臨床実習 I	8							•			0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
	쨜	総合臨床実習Ⅱ	8								•		0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
		地域リハビリテーション実習	2								•		0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
卒	美研究	卒業研究	2									•	0	0	0	0	0		0	0	0					0	0	0